

ロシアがアメリカとの核協議一時停止

イスラエルより、シャローム。(アミール氏背後にハルマゲドンの谷《イズレエルの野》のある地に立つ。) わたしは、ハルマゲドンの谷のすぐそばに住んでいる。つい数時間前に起こった、この地域にとって、とても重要な問題についてお知らせしたい。このことを、ハルマゲドンの谷を背景に話すことの、大きな意味を感じる。ということで、何が起きたのか。

ロシアが、2000年にアメリカと結んだ核協議を、一時停止した。これは、両者ともに、それぞれ35トン(34トン)のプルトンを処分するという協定である。明らかに、プルトンは、核爆弾製造の材料として用いられるもので、ロシアは、唐突にアメリカが、その協定の一部を守っていないと言いついた。しかし、それは何の関係もないことは明らかで、それによって中東の緊張感が高まり、目的は、シリアとアメリカの、ルーマニアでの対ミサイルシステムの配置で、今から数時間前に、ロシアは2つの行動に出た。1つは、先の協定実行の一時停止、つまり、ロシアはプルトンを破棄せず、維持するということで、それをどう使うかは、神がご存じだが、両国間の緊張感、核環境にまで高まっているということなのである。両国間のレトリック(雄弁術)は、冷戦以来見られなかったことで、わたしは、現在目の前で起こっていることは、冷戦時のそれよりさらに上回っていると思う。2つめは、この24時間以内のロシアの行動が、アメリカによる、あらゆるシリアへの介入を止めるため、ロシアは、シリアに対巡航ミサイルと、対航空機の防衛システムを配置した。

では、なぜロシアはそんなことをしているのか？

まず、ロシアはSA-23を設置した。これは初めてのことで、SA-23防衛システムは、巡航ミサイルが標的に向かって飛来するのを察知すると、2つの異なるロケットを発射する。1つはこちらに向かって飛来する巡航ミサイルに対して発射、小さいほうは、グラディエーターと呼ばれ、大きいほうはジャイアントと呼ばれる。それぞれが、巡航ミサイルを根本まで破壊するための130kg以上の爆発物を搭載している。では、なぜこれが重要なのか。理由は2つ、1つ目は、ロシアがアメリカに警告しているのである。もし、シリアでの攻撃を考えているのなら、考え直したほうがいい。アメリカにとって、シリア攻撃の唯一の選択肢は、現在地中海に数隻停泊している、アメリカ軍軍艦のうち、6隻を使って地中海から巡航ミサイルを送ることだ。明らかにアメリカは、その権利を維持しているが、アメリカがそれを実行するなら、ロシアはこのSA-23を使って、それを阻止しなければならない、と考えている。ロシアが、国境を越えて、これを配置するのは初めてである。

2つめは、ロシアによるアメリカへの脅迫。もし、アメリカが、中東、特にシリアに介入するなら、「地震が起こる。」もう一度言う。「地震が起こる。」実際、アメリカや世界各地で、大規模な地震が増加しているが、ロシアはそのことを言っているのではなく、ロシアは、アメリカとロシア間の、軍事対立の可能性を示唆している。これから数日の間に、ロシアは大規模な訓練を予定している。何百万人ものロシア人が、地下シェルターに入り、ロシアが攻撃された時を想定した訓練なのである。ここイスラエルでは2年毎に、国を挙げて訓練を行うが、ロシアでは大変珍しいことなのだ。つまり、ロシアは自国民を何かに備えさせており、ロシアはシリアの土地で何かを備えており、そしてロシアはアメリカを何かで脅迫している。非常に重要なのは、一旦こう言ったシステムがシリアに配備されると、アメリカの巡航ミサイルが標的に向かって飛ぶのを防ぐだけでなく、同時に、ヒズボラによって持ち込まれた、武器の格納庫を標的にする、イスラエルの動きも妨害されるようになるのだ。

ロシアは、の 24 時間の中に動き出しており、ロシアが、シリア入りした以上に事態は深刻だ。彼らは「流れを変える」武器を、シリアに持ち込んだ。それによって、イスラエルがシリアに介入する可能性を制止し、そしてアメリカの巡航ミサイル発射計画さえ、できなくさせた。今後は、国連やヨーロッパ諸国での軍事行動だけでなく、自分たちのシリアでの目的を邪魔する者は、誰であっても激しく攻撃する、とのメッセージを発信している。これは、大変大きなことだ。ロシアは、自国民を備えさせ、地を、世界を、アメリカを、国連を備えさせ、そしてヨーロッパでも何かを行う準備をしている。

わたしの背後には、ハルマゲドンの谷があるのがとても興味深いと思う。黙示録 16 : 16、最後にエルサレムに向かう時（イスラエルを攻めるため国々が世界から集まってくる）ここに軍隊が集まって来るのだ。その時は、この世は今の様子とは違い、それは大患難の最後に起こるのである。ここに、イエスが戻ってこられ、わたしたちも主と一緒に戻って来る。しかし、それは、とても悲惨な状況になるのである。現在、それに向かって、世界が整いつつあるのがよくわかる。

現在、わたしの背後には穏やかなハルマゲドンの谷が広がっており、イスラエルは、今までなかったほど安心、安全で繁栄している。実際、新年が明ける前日に、ここイスラエルで、様々な意識調査が行われたが、イスラエル人の 83%がここに住むことに、かなり満足していて、ほとんどの人が、この国で安心して住んでいるという。ほとんどのイスラエル人が、今までで最も経済的に満たされて、イスラエルは良い国だと思っている。しかし、この平安は長くは続かない。（ I テサロニケ 5 : 3、エゼキエル書 38 : 8, 11 参照）

これは、マゴグの地のゴグが攻撃する前、イスラエルはこうなる、とエゼキエルが預言したことで、以前言った通り、プーチンがマゴグのゴグ、大首長であると、わたしは考える。彼らは、ロシアからやってきて、ロシアが中東を独裁する。現在、彼らはここを牛耳り、脅迫しているだけでなく、武器を配備させ、おかしいことを行っている。

目を天に向けよう。わたしたちの贖いが近づいている。繰り返すが、背後に見えるのは、ハルマゲドンの谷で、わたしはここに住んでいる。艱難時代の戦いの時に、わたしはここにいるつもりはなく、1 つ確かなことは、我々クリスチャンにとって、現在起こっていることは、非常に大きな励みになるのである。クリスチャンでない人にとっては、聖書預言は恐れさせるためではなく、備えさせるものである。しかし、備えていないなら恐れたほうがいい。悲惨なことがすぐそこまで迫っているのだから。

先ほども言ったように、この 24 時間の中に、ロシアがさらに大きな一歩を踏み出した。これは絶対に無視してはいけない。なぜなら、現在、彼らがここ中東を牛耳っているからだ。

この後、わたしはアメリカ、イタリアとカンファレンスが続き、多くの魂が救われるよう、あなたも祈りで参加してほしい。

家族を代表して、みなさんに新年の挨拶をする。（ユダヤ歴ではこの時期のため）

わたしは、ニュースのただ中に住んでいる。（この情報は）信頼できている。

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジャーナル Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージをアメリカ在住の日本人クリスチャン言波さんが翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL（英語）、「神さんの言うとおり」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私はその日のために、

文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4：7 はこの声に聴き従います。目の異常でパソコン作業に非常に困難を覚えている私のためにもお祈りください。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Ryoku